

陸上自衛隊 第4特科連隊第3大隊本部管理中隊（久留米駐屯地）

1等陸士 井上 哲朗【平成27年 自衛官候補生（陸上）で入隊】



火砲（大砲）をもって広域な地域を制圧する部隊であり、佐賀県の大部分を災害派遣の担当区域としている第4特科連隊に配属された井上1士の現在の様子を確認してきました。

新隊員教育が修了して、現在の部隊に配属されて約4ヶ月がたちましたが、部隊での勤務はどうですか？

「現在、火砲の射撃に必要な器材の取り扱いに関する教育を受けているところですが、覚える内容が多く、とても難しいです。しかし、その内容はとても興味深くて、毎日が充実しています。」

ところで、どうして自衛隊に入隊しようと思ったのですか？

「5年半、会社（製造業）に勤めました。が、「仕事は見て学べ」という職人気質の方が多く、人間関係がうまくいかずに辞めました。」

就職活動中に地方協力本部の広報官に会い、自衛隊の話聞き、自分に合ってるなと思ったため自衛隊を受験しました。自衛隊は、一から十まで丁寧に教えてくれるいい職場だと思います。」

入隊前に不安に思っていたことがあれば教えて下さい。

「入隊前に一番不安だったのは、体力面と集団生活です。体力面は半年間の教育で徐々に向上させることができましたので大丈夫でした。生活面も時間が経てば、同期・教育隊の方々とも打ち解けるようになり、今ではとても楽しいです。」





新隊員教育隊での教育はたいへんでしたか？

「最初は慣れない環境に戸惑うこともありましたが、とても有意義な半年間でした。新隊員教育で大きく自分を成長させることができました。」

充実していると感じる時は？

「自分の成長を感じられる時です。体力検定などの検定を受けるたびに前回の記録を超えていくのはとてもうれしいことです。」

給料は何に使っていますか？

「主に貯金しています。休日買い物をしたり、友人と遊ぶ時に使う程度で、残りはほとんど貯金しています。自衛隊では、入隊してしばらくは、駐屯地内で生活するため、家賃・光熱費・食費がほとんど必要ありません。制服なども貸与されます。」

入隊してから御両親は何か言われてますか？

「以前は自衛隊にあまり関心のない両親でしたが、自分の入隊を機に興味を持つようになりました。」

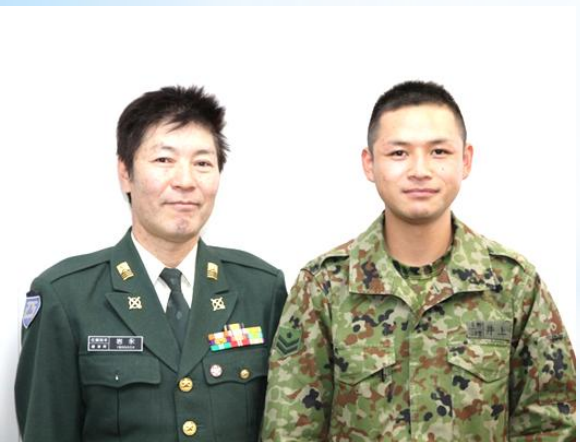
帰省した際は、自分が受けている教育や訓練など自衛隊の話をよくします。」

将来はどうしたい・どのようになりたいと思っていますか？

「まだ遠い将来のことは分かりませんが、今は部隊で勤務するために必要な教育など、目の前のことに全力で取り組みたいです。合わせて陸曹候補生に早くなれるよう頑張りたいと思います。」

自衛隊の受験を考えている方に対して一言お願いします。

「自衛隊では、衣食住揃っており、金銭面の心配はなく、日々の訓練で自分を高めることができます。迷ってる方には是非受験してもらいたいです。」



井上1士の受験から入隊まで面倒を見た唐津出張所の広報官 岩永曹長（陸上自衛官）と